

一般

段級

故戸部某の、此柳みせばやなど、折（くり返しのく）く  
 の給（おろ）ひ聞え給（おろ）ふを、いづくのほどにやと思ひ  
 しを、今日この柳のかけにこそ立（たち）寄（より）侍（はべり）つれ。  
2画目下げる

【奥の細道】  
 戸部某という者が、「この柳をお見せしなければ」としばしば言っ下さっていた  
 のを、どんな所にあるのかとずっと気になっていたが、今日まさにその柳の陰に  
 立ち寄ったのだ。

